

市政を問う

一般質問

一般質問とは

議員が、市の行政全般にわたり、執行状況や将来の方針などを質問したり、政策提言を行うもので、定例会のみ行われます。質問時間は、答弁時間を含め、議員1名につき90分以内で、時間内であれば何回でも質問できます。



デジタル活用支援推進事業について

久米原 孝子 議員

議員 総務省では、令和3年度から高齢者等が身近な場所で、身近な人からデジタル活用について学べる講習会等を推進するデジタル活用支援推進事業を開始しています。市内での取組について伺います。
総務部長 令和3年度の市内での高齢者を対象としたスマートフォン講座の開催実績は携帯電話販売事業者による講座が合計で1680回、地域コミュニティ協議会の自主事業として講座を合計21回開催しています。

議員 デジタル・デバイスド解消に向け、地方公共団体、教育機関、NPO法人等と連携し、若い世代が高齢者に教えることや高齢者が気軽に何でも相談、教え合うことができる場の提供など、幅広い取組を進めています。今後の当市の取組に



▲デジタル活用について学べる講習会の推進を

掲載以外の質問項目
◆ヤングケアラーの孤立を防ぐ取組について
◆学校給食について

「死亡届の行政手続き」のワンストップ窓口を設置へ

伊藤悦子 議員

議員 家族の死亡による行政手続きは、世帯主の変更、年金、国民健康保険など多岐にわたり、各窓口へ訪れる負担が大きく、最愛の家族を失った時だからこそ市民に優しく添えるよう、一度で済むワンストップサービス

小児のワクチン接種について

議員 5歳から11歳のワクチン接種は、副反応や長期的に見て、体への影響の不安などがあります。接種に当たった認識

健康づくり推進部長 現時点で小児用ワクチンは、臨床試験等から重大な懸念は認められないと判断しています。副反応に対し、接種券に同封する案内や、市ホームページで丁寧に説明をします。接種には保護者の同意が必要であり、受けるお

金剛寺 博議員

萩原市長の「官製談合事件」の認識と「道の駅再検証」の内容を問う

議員 今回の事件、一番 議員の先頭に立ち市政改の鍵は市長の様々な勢力や業界に対する毅然とした態度が必要ではなかったかと思いますが、市長選挙でも「道の駅再検証」を公約されたと思いますが、検証内容を伺います。

市長 建設事業費の再計算、運営費や収支状況の検証を令和4年度中に行い、公表し、市民の意見も把握して判断します。

「ミニシティバスの路線拡大、停留所へベンチ設置を求める」

議員 要望の多い、佐貫町・川原代町・野原町などへの路線延長を求めます。

都市整備部長 さらなる路線の追加は難しいが、既存路線の小規模な変更については、運行効率や道路状況、影響などを交通事業者や警察と協議して検討します。

議員 龍ヶ崎市駅東口への上屋・ベンチの設置、さらに設置されていない

札野章俊議員

龍ヶ崎市のビジョン（4つの重点目標）について

議員 「子育て環境日本一」「市民活動日本一」「防災・減災日本一」「スポーツ健幸日本一」の四つの重点目標を市長のビジョンと照らし、どのように展開、昇華させていくのかを伺います。

市長 これまで進めてきた個々の施策や事業等については、考え方を継承したいと考えます。

「コロナ（オミクロン株）対策について」

議員 オミクロン株に置き換わったことによる市内の若い世代の感染者が急激に増加しています。市内小・中学校の感染状況とその対応をお伺いします。

教育部長 小・中学校における感染状況は、昨年までの累積で34人だったのが、今年2月末だけで245人と約7倍になって急激に感染している状況です。基本的な対応は、毎朝の検温及び健康観察につ

大野みどり議員

「新長戸コミュニティセンター建設事業」令和4年度予算計上見送りの理由

議員 旧長戸小学校施設の利活用、長戸コミュニティセンターの老朽化、駐車場不足等様々な問題をかかえ、平成27年から地域住民の皆さんと何度も話し合いを重ねてきた経緯があります。

市長 健康長寿を延ばす取組を住民に最も身近なコミュニティセンターで実施できればと考えています。私なりの視点で更なる検討を加え、市民の皆さんから喜ばれ、より良い施設をつくり上げたという趣旨です。全体的に検討し、予算措置を講じて参ります。

「新生児聴覚検査費用の助成について」

議員 全新生児が新生児聴覚検査を受検できるよう、検査の周知と負担軽減の対応は必須です。検査費用の助成につきまが、当市の見解を伺います。

健康づくり推進部長 母子手帳交付時やプレママ

山宮 留美子 議員

萩原新市長の目指す龍ヶ崎市とは

議員 市長就任挨拶の中で、龍ヶ崎市の新時代を切り開けるよう、積極的に市政運営に取り組みとありました。

積極的な市政運営とはどのようなことなのか、市民にわかりやすく、具体的にお示しいただけますか。

市長 現在の龍ヶ崎市は、昨年の官製談合防止法違反事件をはじめ、さまざまな課題が山積しています。市民の皆さんの信頼回復のためにも、まず市政情報をしっかりと発信し、わかりやすい透明性のある市政改革を推し進めていくことが私の責任であると思っています。

そして、人が集まる元気な自治体にするため、市職員の意識改革、スキルアップを進めながら、超高齢化社会の到来を見据え、先手を打ち、医療

体制の充実も図ってまいります。

さらに、持続可能なまちにするため、地域の活性化、経営のIT化の促進、企業誘致による雇用の創出など、市民の皆さんや、職員の皆さんの意見を伺いながら、より良い市政運営に取り組みでまいりたいと考えています。

議員 言うのは簡単ですが、絵に書いた餅にならないよう、今後の龍ヶ崎市が市長の構想どおり、「楽しくて、住みやすく、大人と子どもがあらゆる場面できちんと関われる街」が実現するよう、よろしくお願い致します。

◆新つぼみ園の今後の取組について
◆関鉄バスとコミュニティバスの今後の在り方について

油原 信義 議員

持続可能なまちづくりと人口減少対策！

議員 人口推計では、2030年に7万人、2045年には5万5千人、生産年齢人口と老年人口が1対1になる状況は十分にあり得るものと想定した行政運営が必要で

す。地方都市において、今後、定住人口増加を追い求めることは厳しい状況ではあるが、安心して子どもを産み、子育てできる施策、魅力ある教育環境の創出、また、龍ヶ崎の認知度向上、賑わいの創出を図る交流人口・関係人口の促進策など、積極的に取り組むことで、想定より緩やかな人口減少に繋がっていくと考えます。

また、人口が減少することを前提に、インフラの状況や税収などを想定しつつ、財政運営を行うことも重要であると考えます。この先10年、20年を見据えて、一つひとつ

の施策の意味を考えながら、持続可能な市政を推し進めて頂きたい。

市長 本市が今後も持続可能な自治体として存続していくためには、龍ヶ崎市が持つポテンシャルを最大限発揮しながら、人口減少をできる限り緩やかにしていくための施策に継続的に取り組んでいくことが不可欠と考えています。

まずは、楽しい街、住みたくなる街、大人と子どもが関わる街と感じて頂けるよう、子育て・教育の充実、スポーツや健康寿命の延伸、地域防災力や防犯力の強化などに取り組んでまいります。



▲楽しい街！
住みたくなる街！

石引 礼穂 議員

スポーツによるまちづくり ～マネジメントする組織を～

議員 牛久沼トレイル構想についてお伺いします。

市長公室長 牛久沼とその周辺地域の活用については、広域的な観点から市域をまたいだ事業を構想し、連携・協力して推進することが重要なポイントと考えています。

従来の牛久沼周辺首長会議に国土交通省及び茨城県を迎え入れ、新たな広域連携の推進組織（仮称）牛久沼活用推進協議会というものの設立に向けて準備を進めております。

議員 「スポーツには力がある」と市長はおっしゃっています。私もそう思っています。ただスポーツといえば一言ですが、スポーツを活用して健康づくり・健康寿命の推進・森林公園や牛久沼を活用してアスレチックや水上スポーツ・プロスポーツの招聘など、市の政策としていく必要があります。スポーツ全体のマネジメントを行うことで、当市の特徴・当市の売りになるまちづくりにつながると思います。スポーツによるまちづくりをマネジメントする組織を庁内につくり、市民が誇れるまちづくりをしていきたいと思います！

山崎孝一 議員

プロスポーツチームの招へいについて

議員 令和4年第1回臨時議会において、市長が所信表明で述べられた、プロスポーツチームの活動として本市をプロモーションすること、そして実際にプロスポーツチームの招へい活動を通じて、どのようなまちづくりを考えているのかお聞きします。

市長 プロスポーツチームが地域に与える効果は、多くのものがあると考えております。地域にゆかりのある地元チームの活躍による地域全体のイメージアップ効果や地域の人たちが応援することによる連帯感の醸成、人的ネットワークの形成等、地域意識の高揚などの効果が期待されます。また、試合開催などにより本市への誘客が生まれ、地元製品の販売増や観戦に関連した地域産業の経済効果が期待されます。



▲プロスポーツチームの招へい推進を

議員 私は、スポーツによるまちづくりを公約に掲げておりますが、スポーツは行っただけでなく、スポーツを観る、語る、応援するといった生活の場に根付いた活動を推進することで、地域の文化や経済に好循環が生まれ、ひいては、それが、まちの発展に繋がれるものと考えております。

後藤光秀 議員

子どものコロナ対応について 10年後、本当に責任取れますか？

議員 厚労省は2歳児以上の幼児に対するマスク着用を推奨し、これに多くの異論が相次いだ。有効性や安全性が不十分として医療従事者や各専門家からも過度なマスク着用やワクチン反対の声が広まっている。接種希望者がいる以上、速やかに体制を整えなければならない行政の対応も理解するが、子どもへのワクチン接種に対する不安の声が強まる中、例えば、5〜10年後と何かあった時、本当に責任が取れますか？

健康づくり推進部長 感染防止を図る上で有効な手段と捉え、当市でも皆様にお願ひしてききました。一方、マスク着用が困難な方に関しては一般と異なる配慮が必要とし、可能な範囲でお願いできればと考えております。小児ワクチン接種については専門家の中でも様々な意見

があること承知しております。予防のメリットと副反応のデメリットを考慮した上で、お子様とも相談し判断していただきたい。

議員 大阪の泉大津市長は極めて慎重に判断すべきとして一律送付をせず、申込みをした人だけに接種券を送付するという勇氣ある判断をした。自分の家族に5〜11歳の子や孫がいる医師にワクチン接種するか質問した調査結果では「接種しない」と9割の医師が回答している。慎重に正しい情報を提供しつつ、その上で希望者へ接種券を送付すべきではないか。萩原市長には是非、慎重な立場でオール市民をサポートできる体制を整えていただきたい。

掲載以外の質問項目

◆市営キャンプ場整備について

◆龍ヶ崎大型花火大会について

大竹 昇 議員

デジタル田園都市国家構想へのアプローチ

議員 デジタル田園都市国家構想のコンセプトについてお伺いいたします。

市長公室長 デジタル田園都市国家構想は、国が掲げる「新しい資本主義」の実現に向けた成長戦略でデジタルの力を活用し、地方の豊かさに利便性と魅力を備えた新たな地方の姿を提示するものです。

議員 地方が持つ人材、資源を独自のアイデアとデジタルの力で速く、新たな経済・雇用を生み、ミニ東京でない自然と人の共生から生まれる心身豊かな地域づくりと解釈しデジタルが目指す地方都市のイメージは如何に。

市長公室長 国が考える関連施策の一点目、5G、データセンター等のデジタル基盤の整備。二点目に大学での教育や職業訓練等デジタル人材育成の整備と人材確保。三点目に地方課題を解決するデジタル

ル実装。四点目に誰一人取り残さない取組です。

議員 2010年の人口ピラミッドの35歳から39歳の構成人口に戻すには、どのような政策が必要か。

市長公室長 「働き盛り」世代を呼び込み、流出させない子育て支援や定住促進等幅広く取組み、適時に見直し、デジタル化に対応すべく政策を図ります。

議員 萩原市長、デジタル田園都市国家構想への具体的な政策は如何に。

市長 デジタル実装のジャンルは幅広く、交通・産業・農業・医療・教育・防災等が例示されており、テレワークスペース等の整備事業や市の窓口業務をデジタル活用し「来させない・書かせない」窓口整備等を検討しています。

最上位プラン

岡部賢士議員

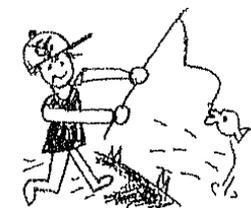
議員 当市のまちづくりの基本方針を示す最上位プランに市長のマニフェストを、どのように反映させようとしているか。

市長 私の思いをしつかりと伝えたいので、市民の皆様のご意見を十分に伺い、策定を進めたい。
議員 新市長に変わったからこそ生きる戦略、実行できる目標をしっかりとプランに反映させるべき。

市営霊園

議員 霊園整備に対する、市長の見解を。
市長 時代の変化や市民ニーズを勘案し、必要ことや課題を整理し、今後の方向性を判断したい。

議員 宗派の制約がなく、市営による安心感がある霊園は、市民ニーズが高く、必要性の高い事業。ニーズがある以上、簡単に諦めず、前向きに推進すべき。形態や規模など工夫次第で、課題解決の突破口は見いだせる。



▲独特、多様な水辺環境を活用・PR！自然志向の高まっている今がチャンス！

市長の広域管理者会議での発言に猛省を！

大野誠一郎議員

議員 市長は広域行政の必要性、重要性、連携の大切さを認識している中で、管理者に推薦されないうからと、龍ヶ崎地方衛生組合の処理施設を「迷惑施設。いつになったらどくだと。そんな思いを龍ヶ崎の市民は思っている。」と発言した真意はなにか。

市長 本市が、し尿処理施設が立地する地元の自治体であること、またこれまでの関わり、歴史の背景を踏まえて、私の思いを述べました。ご指摘は真摯に受け止めます。
議員 牛久市の根本市長が、取手市の藤井市長を管理者に推薦した際に、「取手市長が管理者に就任するんだったら取手市は脱退して、施設を造って頂きたい。」「牛久市長が、取手市長を管理者に推薦するんだったら、牛久市も脱退して、施設を造ってほしい。そんな思いを龍ヶ崎市は思っています。」との発言は、広域行政の重要性、連携の大切さを認識している発言とは思えない。個人的な思いですか？龍ヶ崎市の代表として発言したのですか？
市長 私も就任して間もないところでありました。そういった中で、いろいろなエスカレートするような発言もありました。その中で、私的な発言等々も少しあったと思います。そのことについては、真摯に反省をさせていただき、引き続き、構成自治体との連携を推進したいと思えます。
議員 ぜひ反省、むしろ猛省をしていただきたいと思えます。このような発言は、広域行政の根幹を揺るがし、泥沼化するもので、3組合の統合に逆行するものである。

交通移動弱者に目を向けた これからの地域公共交通を

山村 尚議員

議員 市長マニフェストにあるAIバスとは、「予約が入ると現在位置から最適ルートを見つけて出し、臨時に設定される仮想停留所を発着地として運行ダイヤを自動生成する」というものです。
このような次世代交通サービスの取組は全国各地で行われ、国も事業推進しています。当市における次期地域公共交通計画のスケジュールとその内容は、

都市整備部長 計画期間開始予定を令和5年1月からとして令和3年度は基礎的データの収集・分析、令和4年度は地域公共交通を取り巻く課題の精査、計画策定を次期最上位計画内容から反映しながら進めていきます。
議員 地域交通政策を専門とする組織の改編が市役所内に必要では。
市長 多角的検討が必要
と認識をしています。現在策定中の次期最上位計画から地域交通に関する施策を今後示していきますが、事務事業の検討や推進体制の行政組織機構化等それらを踏まえ、また、当市の現状を鑑み、組織形態を構築していきたいと考えています。
議員 交通移動弱者の方への交通政策は今後特に重要なものとなります。AIバスの停留所数もとより、乗合タクシーの停車場拡充等について積極的な検討をお願いします。
また、それでも移動が困難な方は福祉有償運送が必要です。その必要性を認識し、地域交通政策、福祉政策として進めていっていただくことを要望します。
◆掲載以外の質問項目
中心市街地の再生について

石嶋照幸議員

今ある資源を有効活用して、

魅力ある龍ヶ崎市へ

議員 地域活性化やにぎわいを創出するためには、観光資源を活用し、交流人口を増やす事が重要です。

現在の龍ヶ崎市の観光資源は何でしょうか。

産業経済部長 本市には、歴史的な観光資源として、撞舞や龍ヶ崎のし

だれ桜、グルメとしては、うな井や龍ヶ崎コロッケ、「プティ アクーユ

龍ヶ崎」があり、それとは別に、牛久沼に代表される水と緑に恵まれた自然豊かな環境も観光資源

です。

議員 沢山観光資源を挙げていただいたが、まだまだその資源を使い切れていないと感じます。話題性が少なく、人を引きつける何かが足りないと考えます。

ライトアップだけならば、どの自治体も行っている。その先を行かなければ、

加藤 勉議員

龍ヶ崎新時代の構築に向けて

議員 萩原市長が掲げる政策実現のためには、「市役所の組織体制と人材育成」が重要と考えます。市役所の組織体制について

は、何度も見直しを繰り返したことで十分に機能していないと思いますが、現在の組織体制をどのように認識されているのか。

総務部長 現在の組織は平成30年4月に総合的な見直しを行っているが、それ以後も政策課題等に対応すべく適切と思われる組織体制の整備を図ってきたが、全体的な見直しが必要な時期に近づいていると認識しています。

議員 萩原市長が掲げる龍ヶ崎新時代への政策実現のためには、部や室等の部制の見直しや特定の政策課題解決のための課等を新設するなど、市役所組織を根本から見直すべきではないでしょうか。

市長 現在、本年12月市議

鴻巣義則議員

一部事務組合での

萩原市長の不適切発言について

議員 近隣市町村で構成している一部事務組合、稲敷地方広域市町村圏事務組合（消防）や龍ヶ崎地方衛生組合での管理者等

会議の中で、萩原市長は牛久市の根本市長や取手市の藤井市長に対して組合を抜けて単独で行うように発言されています。これは、萩原市長個人の考えであつても龍ヶ崎市全体の考えと思われてしま

います。特に取手市の藤井政に励んでください。

市長 龍ヶ崎市が先頭にたつて広域行政を進めたいという考えから、そのような発言になってしまいました。不適切な発言であつたと考えております。

議員 近隣市町村とは早く関係を修復して広域行政に励んでください。

ふるさと納税について

昨年度はマイナス424万円

議員 市長の公約に、ふるさと納税を5倍にするとあります。そこで、令和2年度の納税額と収支をお尋ねします。

議員 1億8000万円集めてもマイナス424万円ですが、5倍を目指すという事ですので頑張ってください。ただ、無理してまでふるさと納税を集めることにこだわると、私は思っています。

産業経済部長 令和2年度の受入額は、1億7919万円です。経費は市民税控除額を合わせて1億8343万円、差引収支額はマイナス424万円と

櫻井 速人 議員

龍ヶ岡公園、森林公園の

トイレについて

議員 コロナ禍で人との距離を保ち、これからの時期に賑わう公園の中でも特に多くの人が利用されるのは、龍ヶ岡公園、森林公園であります。

国土交通省アンケートにおいて、公園のトイレについては清潔であることが最重要視され、加えて、安心して利用できないという意見がみられます。

現在当市では、公園の長寿命化計画が進められておりますが、前述の二つの公園につきまして、現在の点検整備状況、清掃頻度と現状を踏まえて改善案等がありますでしょうか。



▲気持ちよく使っていただけける公園を！

都市整備部長 清掃・点検については、通年委託にて実施されており、龍ヶ岡公園については、週2回、森林公園に関しては、毎日実施されております。破損等問題があれば、簡

掲載以外の質問項目
◆スケートボードパークの設置について
◆オンライン授業について

米町の旧茨城銀行跡地の取得について

後藤 敦志 議員

議員 この取引は、外部の者からの圧力により市は土地を取得せざるを得なかったのではないかと、その中で、市の鑑定額では金額が低く相手側と折り合えず、やむを得ずまちづくり・文化財団を介在させられた、外部の者の影響力により行政がゆがめられた、今回の官製談合事件と根底にある原因は同じではないかという疑念を持っています。

当該土地は解体工事を実施したところ、基礎や杭の撤去が非常に困難であるとの結果が出て、地中埋設物があるため、市が行った不動産鑑定では、1万5900円/㎡という鑑定額が出ていますが、財団での鑑定額は2万2800円/㎡。実際の取得価格は2万2000円/㎡です。

財団では、土地取得について市から公共用地先行取得事業で土地の取得の依頼を受けた後、最終的に

取得について

は理事長の決裁を経た上で、理事会で決定をされています。実施主体が違っていたとはいえ、当時の前理事長と前市長は同一人物です。財団で土地取得を決定する際、龍ヶ崎市で行った鑑定結果は、議論されたのでしょうか。

市長公室長 財団に確認したところ、理事会において、事務局から取得価格を含む概要説明の後、特段の意見はなく、出席理事全員一致で可決したということです。

議員 市の鑑定額を基にすれば、1300万円ほどの土地ですが、財団を介在させ1950万円での土地取得となり、結果として600万円も高い買物をしたことになります。市長は、財団理事長でもありますので、財団でもこの土地取引が問題のない取引だったのか、調べていただきたい。

ICT教育の目指すものは何か？

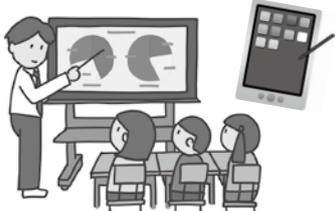
椎塚 俊裕 議員

議員 教育のデジタル化への急激な環境の変化により学校教育が激変していますが、改めてICT教育の目指すべきものは何かを伺います。

教育長 目指すICT教育は、龍ヶ崎市学校教育に係るICT活用推進計画に基づき、「将来においてたくましく生き抜く人づくり」を目的とした龍の子人づくり学習カリキュラムで教育の質を高める一つの柱として、ICT教育を明確に位置づけていきます。

教職員の働き方改革、子ども自身の健康維持のためにも、今後も慌てず、焦らず、諦めない継続した研究、工夫、改善が必要であると痛感しています。

反面、これまでの教育で大切にしてきた対話力、対面力の低下も目の



▲ ICT 教育の充実と人づくりの教育が重要